

平成 15 年度
都市景観大賞「美しいまちなみ賞」

受賞地区の概要

「都市景観の日」実行委員会

都市景観大賞「美しいまちなみ賞」について

都市景観大賞「美しいまちなみ賞」は、美しいまちなみを創り、育てるために、公民が協力し、ハードとソフトを含めた総合的な取り組みが行われている地区を全国から募集し、その中でも特に優れた地区について表彰を行い、広く国民に紹介していくことにより、より良い都市空間の形成を目指すものです。

【対象地区の要件】

次の二つの要件に該当する地区を対象とします。

- (1) 地方公共団体（市町村又は特別区）と市民等が協力し、街路や公園等の公共空間と建築物等による民有空間を一体とした美しいまちなみが整備されていること。建築物等の規制・誘導、電線類の処理、広告物の整序などが考慮されており、あわせて沿道景観等にも配慮した道路等の公共施設の整備が行われていること等。
- (2) まちなみの維持・保全に係わる NPO 等のまちづくり組織等*¹が設立され、適切に管理・運営がなされるとともに、まちなみが十分に活用され、地域の活性化が図られていること。

【審査と表彰】

都市景観大賞「美しいまちなみ賞」審査委員会において、応募図書等をもとに、まちなみの整備や維持、保全に関する活動の新しさ、独創性、模範性などのほか、地域再生、都市再生や観光交流面でのアピール性等を審査した上で、下記の3つの賞を選定します。

- ① **美しいまちなみ大賞** ……国土交通大臣による表彰
- ② **美しいまちなみ優秀賞** ……(財)都市づくりパブリックデザインセンター会長による表彰
- ③ **美しいまちなみ特別賞** ……(財)都市づくりパブリックデザインセンター理事長による表彰

【都市景観大賞「美しいまちなみ賞」審査委員会 委員名簿】

委員長	中村 良夫	東京工業大学 名誉教授
委員	岩渕 潤子	静岡芸術文化大学 助教授
	加藤 源	都市プランナー
	岸井 隆幸	日本大学 教授
	輿水 肇	明治大学 教授
	富田 玲子	建築家
	西沢 健	環境・工業デザイナー
	松葉 一清	建築評論家
	面出 薫	照明デザイナー
	山岡 義典	日本 NPO センター常務理事／法政大学 教授
	石井喜三郎	国土交通省 都市・地域整備局 都市計画課課長
	小前 繁	国土交通省 都市・地域整備局 市街地整備課 課長

(順不同、敬称略)

平成15年度 都市景観大賞「美しいまちなみ賞」受賞地区概要

「美しいまちなみ大賞」

地区名	応募者
古川町歴史的景観地区	・古川町区長会 ・古川町
赤煉瓦みなと地区	・特定非営利活動法人 赤煉瓦倶楽部舞鶴 ・舞鶴市
島原武家屋敷地区	・下の丁町内会 ・島原市

「美しいまちなみ優秀賞」

地区名	応募者
おゆみ野モデル街区 「おゆみ野駅南」地区	・おゆみ野南21自治会 ・千葉市 ・都市基盤整備公団 千葉地域支社
晴海アイランドトリトンスクエア地区	・晴海をよくする会 ・中央区 ・(株)晴海コーポレーション ・都市基盤整備公団 土地有効利用事業本部 ・晴海一丁目地区第一種市街地再開発事業(西地区) 設計共同体(株)日建設計・(株)久米設計・(株)山下設計
鈴鹿・長宿地区	・鈴鹿・長宿区域街づくり協定運営委員会 ・座間市
しんまちボードウォーク地区	・徳島市東船場商店街振興組合 ・徳島市 ・(有)中川建築デザイン室
竹田地区	・NPO法人竹田まちなみ会 ・竹田市

【審査委員長 中村良夫 東京大学名誉教授 総評】

全般的に本年度の応募は、見どころのある秀作が多かった。

大賞を得た「島原武家屋敷街地区」は伝統的建造物群保存地区の指定こそされていないが、石垣塀と土の道の中央を流れる水路は、日本の町並みを代表する景観をつくっている。しかも、この景観保護の原動力は「下の丁町会」の住民協定によるものであって、必ずしも法的担保があるわけではない。いわば、市民の強い内発的な意欲で、忍耐強い維持管理がその景観を守ってきた。

大賞としての高い評価を得た、岐阜県の「古川町歴史的景観地区」の場合は、景観条例による事前協議などの制度的枠組みが働いている。しかし、この町の場合も、町並みに関する住民の暗黙の美意識こそ最大の鍵に違いない。「相場くずし」への危機感はそのから生まれた。それが事事しくない「無事の美」を達成し得た最大の秘密であろう。同じく、優秀賞の「鈴鹿・長宿地区」の場合もささやかな例ではあるが、法的担保を要しない郷土愛に基づく紳士協定が、何気ない、心やすらぐデザインを生んだ。

大賞を得た「赤煉瓦みなと地区」は、明治日本の記憶を留める旧軍港のたたずまいを見せる貴重な町並みである。市による建築保存と市民団体による積極活用が優れた空間を育てつつある。今後、残りの八棟の保存活用の行方を見守りたい。

「おゆみ野駅南地区」と「しんまちボードウォーク地区」については、議論が分かれたが、いずれも官民境界部の柔軟な取扱いが、優れた景観と町の活性に強い影響を与える好例として印象に残った。

都市景観における眞実(リアリティ)と虚構(フィクション)は、どう識別されるのか。公と私のあいだに宿るその答えをめぐる、充実した議論が交わされた審査会であった。

美しいまちなみ大賞

古川町歴史的景観地区

所在地 岐阜県古川町
地区面積 約35.8ha
応募者 都市景観審議会
古川町

<地区の概要>

当地区は、古川町の中心市街地に位置し、町屋を中心とした現在の街並みは、明治37年の大火以降、匠の技術により復興・形成されたものである。その後も、「相場くずし」を嫌い、伝統町屋を守る住民の強い意識と大工が技を競い合うことによって、建替えのたびに良くなり、現在の統一感のある良好な景観が形成・保全されている。

町民の提案を契機に、平成8年に「飛騨古川ふるさと条例」の制定、古川町歴史的景観地区の指定がなされ、同時に発足した都市景観審議会が、個別の建築行為に対して計画段階から助言や指導を行うなど、住民と行政が一体となって街並み景観の保全に取り組んでいる。また、町民に古川らしい街並み景観のあり方を具体的に例示・提案した「伝統的市街地における建築デザイン・ガイドライン」の発行等も行われている。



▲ 伝統的な町屋建築が建ち並ぶ壱之町地区。統一感のある良好な景観が形成されている。



▲ 白壁土蔵が並び風趣のある瀬戸川沿い。潤いと安らぎのある空間として親しまれている。



▲ 街なみと調和したまつり広場では、毎年古川まつりが開催されている。



▲ まつり広場に隣接する伝統的建築の飛騨の匠文化館。



▲ 新しい町家と白壁土蔵が調和した瀬戸川沿い。



▲ 手前の新しい町屋と奥の古い町屋がうまく調和している。

美しいまちなみ大賞

舞鶴市赤煉瓦みなと地区

所在地 京都府舞鶴市
地区面積 約28.2ha
応募者 特定非営利活動法人
赤煉瓦倶楽部舞鶴
舞鶴市

<地区の概要>

舞鶴市の中心市街地東側に位置する当地区には、近代化遺産である赤煉瓦建造物群（12棟）が残っており、これらを保存・活用し、「赤煉瓦を生かしたまちづくり」を市民・行政が協同で推進している。うち2棟は、行政により「舞鶴市立赤れんが博物館」及び「舞鶴市政記念館」に転活用されるなど、個性的で魅力ある「赤煉瓦」と「みなとまち」の景観が維持されている。

また、「赤煉瓦」をテーマとした各種のイベントが、多くの市民の参画や企業の協力により毎年開催されてきており、「赤煉瓦」を1つのキーワードとしたまちづくり意識や景観保全意識が定着してきている。



▲ 舞鶴湾岸に立ち並ぶ12棟の赤煉瓦建造物群。



▲ 赤煉瓦建物12棟のうち8棟が毎夜ライトアップされている。ライトアップはNPO法人「赤煉瓦倶楽部・舞鶴」が担当。



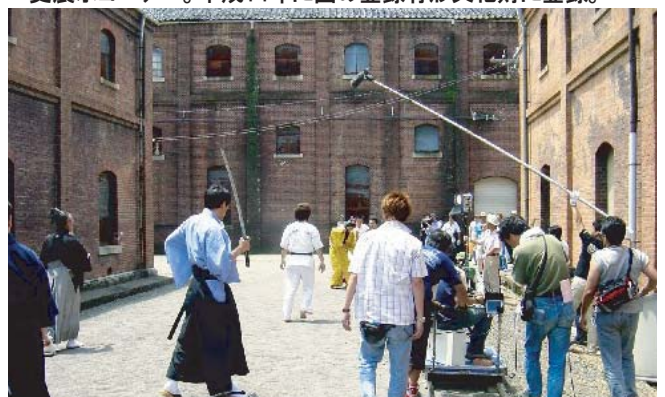
▲ 転活用された「舞鶴市立赤れんが博物館」。建物自体が一展示物となっている。



▲ 舞鶴市政記念館。明治35年に築造された海軍兵器廠倉庫を改修し、平成6年に開館。1階はホールや市民サロン、2階は市の近代史展示コーナー。平成14年に国の登録有形文化財に登録。



▲ 「赤れんがフェスタin舞鶴」は、全国の芸術・工芸作家の交流の場となっている。



▲ ロケを積極的に誘致・支援し、公開されることによる地域の活性化を目指している。

美しいまちなみ大賞

島原市武家屋敷街地区

所在地 長崎県島原市
地区面積 約2.8ha
応募者 下の丁町内会
島原市

<地区の概要>

島原城の北西に位置する当地区には、町筋の中央に清水が流れる水路があり、昔飲料水として使用されていた関係で、水奉行の武家屋敷、石垣塀などの歴史的なたたずまいがその周囲に残っている。うち、下の丁の町筋約400m区間については、道路を市道から除外し、一般交通を通さない「武家屋敷街並み保存地区」として設定するとともに、町内会が水路と未舗装の道路の維持管理をこれまで25年にわたり行ってきた。

また、個人所有の武家屋敷を保存するため、島原市はその一部を取得、借地し観光客に開放するとともに、民有の石垣塀、門の修繕に対し助成事業を実施しており、官民一体でまちなみ保存に努めてきている。



▲ 島原城(写真上部)の北西に位置する。歴史的なたたずまいが保全されている。



▲ 昔のままの水路、通りが残る当地区には、多数の観光客が訪れる。



▲ 昔ながらのたたずまいを残す藁葺きの武家屋敷。



▲ 島原石を使った石垣。



▲ 島原城の築城のとき、外郭の西に接して扶持取70石以下の武士たちの住宅団地として建設された武家屋敷。



▲ 町内会が、水路や通りの定期的な清掃、維持管理を行っている。

美しいまちなみ優秀賞

千葉市おゆみ野駅南地区

所在地 千葉県千葉市
地区面積 約2.0ha
応募者 おゆみ野南21自治会
千葉市
都市基盤整備公団 千葉地域支社

<地区の概要>

千葉東南部土地区画整理事業区域内に位置する当地区は、約2.0haの低層戸建て住宅地である。豊かなコミュニティと質の高い住宅を形成していくため、住まい手が計画策定に参画し、自ら考えて地域で活動していく「住まい手参加のまちづくり」に取り組んできた。

基本計画策定までに計5回のまちづくりワークショップを開催し、4つのテーマをとりまとめた自治会の「まちづくり憲章」に反映させるとともに、居住環境と暮らしに関する取り決めである「暮らしづくりルール」を定め、より良いまちなみの形成・保全に力を入れている。結果、住まい手のこだわりが存分に発揮されつつも、統一感のある美しいまちなみが整備されている。



▲本地区はおゆみ野駅から約200m、徒歩約3分の所に位置し、隣接して、現況地形の緑を残した近隣公園がある。



▲隣接する近隣公園の緑を借景したまちなみ。シンボルツリーがまちなみのアクセントになっている。



▲道路内植栽と協調緑化帯が一体となって緑豊かな美しいまちなみ。車の出入口を一か所に絞り通過交通をなくし、緩やかな曲線道路で車の速度を抑え、安心して歩ける。



▲暮らしづくりワークショップにおいて、シンボルツリーの樹種を各戸で選択。道路内植栽と連続する協調緑化帯は通りごとに揃えることを住民が決定した。



▲本地区のエントランス広場。シンボルツリーのイチヨウは暮らしづくりワークショップで決定。



▲角地の家。オープン外構となっている。

美しいまちなみ優秀賞

中央区晴海アイランドトリトンスクエア地区

所在地
地区面積
応募者

東京都中央区

約2.0ha

晴海をよくする会事務局

中央区

(株)晴海コーポレーション

都市基盤整備公団 土地有効利用事業本部

晴海一丁目地区第一種市街地再開発事業設計共同体 (日建設計、久米設計、山下設計)

<地区の概要>

中央区晴海に位置する当地区は、市街地再開発組合と都市基盤整備公団という二つの事業主体が、共同して一つの市街地再開発事業を推進するという全国でもはじめての取組みを経て開発された。

3棟の超高層オフィスタワーによる特徴的なランドマークを創出するとともに、ヒューマンスケールの低層商業施設を中心に展開される様々なパブリックスペースや、連続した人工地盤と歩行者デッキによる自由で安全な回遊性空間等により、ウォーターフロントのオアシス空間を創造した。また、「住民が住み続け、働き続けられるまちづくり」を基本に、「コミュニティファンド」の設立や2段階施行の実施など、住宅の建替え計画を策定、実施したことも大きな特徴である。



▲ 職・遊・住の融合したウォーターフロントの複合都市空間を実現。



▲ 「港町」をコンセプトとしてデザインされた「花・水・緑」のテラスに囲まれた商業施設。



▲ 道路境界を感じさせない開放的なプロムナード「さくらの散歩道」。



▲ 世界ではじめての運河をわたる動く歩道専用の歩道橋「トリトンブリッジ」を整備。



▲ 地元自治体の協力を得て、さくらの散歩道で毎年秋に開催される「インフィオーラタ」。



▲ 街区の内外におよぶイルミネーションイベント「海の中のクリスマス」。

美しいまちなみ優秀賞

座間市鈴鹿・長宿地区

所在地 神奈川県座間市
地区面積 約13.0ha
応募者 鈴鹿・長宿区域街づくり協定運営委員会
座間市

<地区の概要>

神奈川県座間市の相模川東部に位置し、社寺、湧水、相模川河岸段丘の斜面緑地など、歴史的景観や自然的要素に恵まれた当地区は、街づくり協定に基づき、住民が住宅・住宅敷地と周辺環境の調和を図り、「湧水と歴史の里 鈴鹿・長宿」としての「やすらぎ」と「うるおい」を与える街なみを形成している。

日常的な維持管理は地区住民、施設の補修や改良は市という具合に、街なみの維持、保全に関して官民双方がお互いの役割分担をよく理解し、目的意識をはっきり共有している。その他、とんぼやほたるの育成、花いっぱい運動、景観ウォッチング写真画展などの活動も、数多く展開している。



▲本地区は、相模川河岸段丘の斜面緑地を背景に、社寺、湧水など景観的な要素に恵まれている。



▲「龍源水ホテルの公園」として整備。湧水が流れており、ホテルが息できる環境づくりを行っている。



▲道路整備と合わせて、地権者による周辺環境と調和した街なみづくりが行われている。



▲「番神水公園」。湧水が流れており、トンボの息できる環境づくりを行っている。



▲トンボが飛び交う環境を後世に残すため、まちづくり活動の一環として近隣のプールよりヤゴを採取するなどの活動を行っている。



▲各家庭にプランター、ポット苗を配布し、「花いっぱい運動」を展開している。

美しいまちなみ優秀賞

徳島市しんまちボードウォーク地区

所在地
地区面積
応募者

徳島県徳島市

約1.3ha

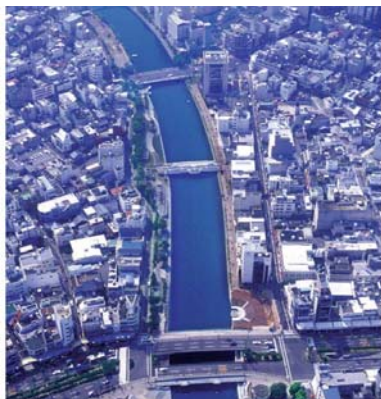
徳島市東船場商店街振興組合
徳島市

(有) 中川建築デザイン室

<地区の概要>

徳島市の中心部に位置し、かつては徳島の商業の中心であった当地区は、他地区における百貨店開店などにより地盤沈下が進んでいた。そこで、当地区の活性化を目的に商店街振興組合が結成され、街づくり、景観づくりに対する取組みが行われた。

当組合により、駅前地区と既存商店街地区をつなぐ歩行者専用通路（ボードウォーク）の設置が提案されたが、最終的には県・市も賛同し、行政と民間が一体となって設置事業が実施された。今では様々なイベント開催のメイン会場になるなど、徳島の中心部の新しい顔となりつつある。



▲ 新町川の中心に位置するしんまちボードウォーク地区全景。



▲ しんまちボードウォーク通路。床、縁石、手摺り、ベンチ、照明等、主要部分がイペ材で作られている。



▲ しんまちボードウォーク通路。既存のふれあい橋から左右にアプローチ可能な車路を設置。橋下はアンダーパスにて通り抜け可能。



▲ しんまち公園。写真中央部の浮き桟橋は満潮時にはステージとしても利用が可能。



▲ 両国橋西詰 公園部分。直径24mの縁に囲まれた円周上に都市公園トイレを設置。



▲ しんまちボードウォーク夜景。

美しいまちなみ優秀賞

竹田市竹田地区

所在地
地区面積
応募者

大分県竹田市
約30.6ha
NPO法人 竹田まちなみ会
竹田市

<地区の概要>

九州のほぼ中央部にあり、大分県の西南部に位置する当地区には、武家屋敷、町屋群、寺院群などの城下町の面影が随所に残っていると同時に、名水百選に指定された湧水群が存在するなど、歴史的資源・自然環境を数多く有している。

高度成長期を境に市街地の衰退が進んだが、史跡等環境保全条例・歴史的街並み景観形成等補助金公布要綱を策定し、官民共同で街なみの修復・修景及び維持・保全、観光拠点としての整備を進めてきた。また、大名行列、能、狂言といった城下町にふさわしい行事を官民共同で実施してきており、賑わいの創出にも努めている。



▲市街地を囲むように城寄りに武家屋敷、城から遠い方に寺院群を配置し、中央に町家群を配置している。



▲竹田の代表的な風景の一つ。白壁の武家屋敷通りが竹田のまちを趣深いものにしている。



▲歴史の道整備で、カラー舗装、灯籠新設、外灯整備を行い、中心市街地の回遊性を高めている。



▲「名水遊歩道」。歩道内に修景水路を取り入れ、自然と四季の趣が感じられる散策ルート。



▲空き店舗対策事業と修景助成事業を利用した新店舗。



▲歴史の道周辺に2万本の竹灯籠の薄明かりが城下町を彩る。